

湖誠会 会派視察報告書

令和2年2月8日（金）
岡山県岡山市（岡山市役所）

地域の未来づくり推進事業について

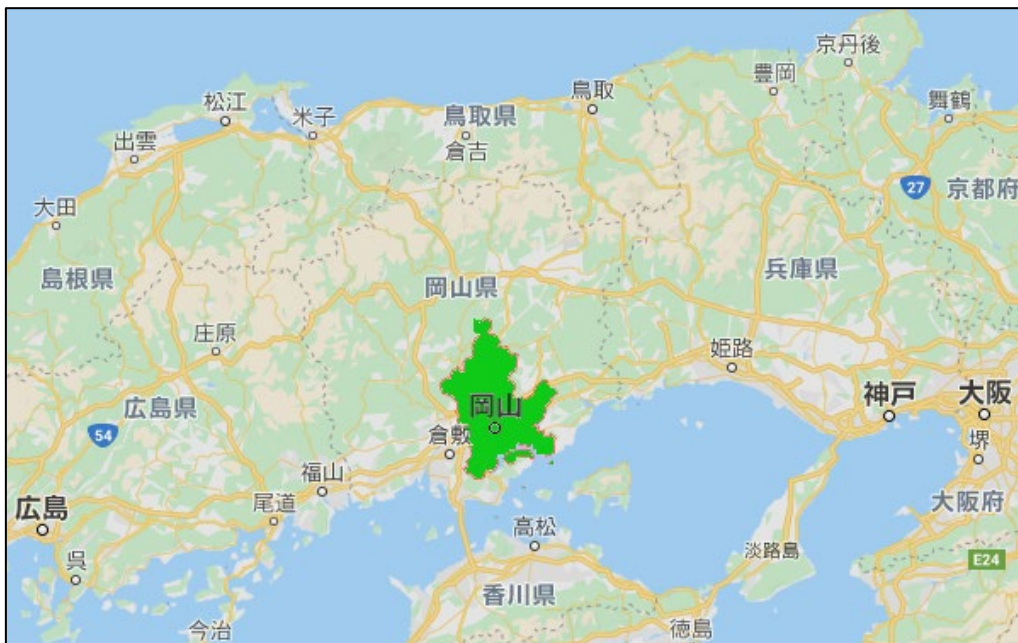
【はじめに】

大津市には、36 小学校区があり、それぞれの地域が抱える課題も様々な状況である。特に中山間地域や南部の人口減少地域では、高齢化も進み、今後のまちづくりについても課題が多くあります。

そこで、平成 29 年度より、地域振興基金を活用した集中的な支援策の検討をされ、平成 30 年度より事業を開始された岡山市を視察しました。

【岡山市概要】

人口約 71 万人、面積 789.91 km²。明治 22 年市制施行、平成 8 年に中核市に移行、平成 21 年に政令指定都市に移行し、4 つの行政区が設置されています。中四国のクロスポイントとして、1980 年代以降の瀬戸大橋の開通、山陽自動車道の開通など、交通インフラが整備され、岡山都市圏は周辺都市圏と共に東瀬戸経済圏として成長してきました。



【調査項目】

1. 地域の未来づくり推進事業着手の背景

人口減少、高齢化の急速な進展と、それに伴う日常的な生活サービス機能の低下や、地域コミュニティの維持が危ぶまれる状況がありました。都心部から離れた地域では将来に対する強い焦りや不安があることを課題と認識されました。そこで合併時に造成した地域振興基金を活用した集中的な支援策の検討を平成 30 年 1 月に開始されました。有識者懇談会を開催し、対象エリア、実施主体、支援内容のニーズ等をヒアリングし、平成 30 年 6 月の事業を開始されました。

2. 地域の未来づくり推進事業について

目的は、地域の課題解決であり、実施主体は次の 2 種類の団体となります。

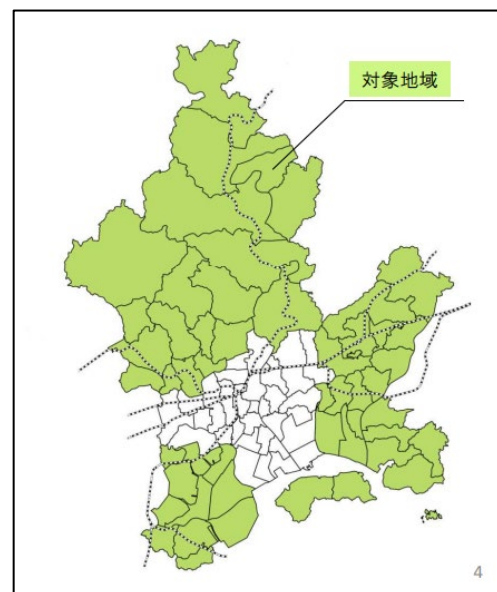
- (1) テーマ型団体 特定の地域に限らず活動する企業や NPO 法人
- (2) 地域密着型団体 特定の地域を対象とする地域住民主体の団体

中心となる活動は、地域活力の創出を目標とした、地域の定住促進や地域産品を活用した事業と、生活機能・サービスの維持を目的とした支えあいの仕組みづくりや、生活支援サービスの維持・拡大などの事業です。

対象は、中山間地域を対象とした、図の地域です。

事業の実施期間は、おおむね 10 年間、補助実施の期間は、実施主体の団体種別により、3～5 年間であり、補助金額は、条件により、上限 500 万円から 1000 万円、補助率 2/3～4/5 以下となります。

詳細は、次ページ【資料①】参照



岡山市地域の未来づくり推進事業補助金

■ 概要

様々な地域課題の解決に向けた、地域の未来づくり計画に位置付けた事業への補助

■ 対象経費

ソフト経費、ハード経費

■ 補助期間

3年から**最大5年間**

■ 補助上限額（総額）

法人格無 | ソフト / 500万円 ハード / 500万円

法人格有 | ソフト / 1,000万円 ハード / 1,500万円

■ 補助率

地域密着型団体 | ソフト、ハード 4/5以下

テーマ型団体 | ソフト、ハード 2/3以下

■ 計画申請期間

~~・2019.7.16（火）～ 2019.8.9（金）~~

・2020.1.14（火）～ 2020.2.7（金）

※上記期間までに事前相談が必要です。

■ 補助対象

地域密着型団体 | 特定の地域の住民、そこで活動する地域住民主体の各種団体、NPO法人、株式会社等の法人格を有する団体が、組織化した団体（対象地域内において、原則として、概ね小学区単位で組織化した10人以上の団体）

テーマ型団体 | 特定の地域に限らず活動する、地域密着型団体以外のNPO法人、株式会社等の法人格を有する団体
※地域内の住民との協力関係が必要です。

3. 地域活力創出事業補助金について

この制度は、中山間・周辺地域や伝統工芸品の産地等を対象に、地域の伝統文化や産品等の地域資源を活用した、地域の「稼ぐ力」の向上や「地域活力の創出」に資する活動を支援する制度です。

地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出を目指す活動や、伝統工芸品を活かした事業など、地域の産業や文化を発展、再興する活動に補助金を交付されます。

対象地域は、(地域の未来づくり推進事業補助金と同じ地域です。ただし、対象地域の課題解決につながる活動であれば、内容によっては対象地域外で活動することも可能で、伝統工芸品を活かした事業は市内全域を対象とされます。

詳細は、【資料②】 参照

【資料②】

岡山市地域活力創出事業補助金

- **概要**
地域の伝統文化や産品等を活用した事業の
試作、試行、ブラッシュアップへの補助
- **対象経費**
ソフト経費
- **補助期間**
補助決定日から翌年2月末日まで
- **補助上限額（総額）**
ソフト 45万円
- **補助率**
ソフト 10/10以下
- **申請期間**
~~・ 2019.6.3（月）～ 2019.9.30（月）~~
※申請期間は終了しました
- **補助対象**
複数の個人又は団体からなる、構成員が2人以上の団体

4. 計画づくりの支援について

地域の未来づくり推進事業、地域活力創出事業について、それぞれの支援体制を構築されています。特に地域の未来づくり推進事業においては、地域の課題や取り組みたい事業等のアイデアを参加者間で共有する場を設ける全体ワークショップをはじめ、相談を受けてから、対象事業に認定されるまで、ハンズオンで必要なアドバイザーを派遣するなど、きめ細かな支援をされています。

また、地域力創出事業においては、地域活力創出担い手育成塾として、「地域おこしスペシャリスト講演会」、「コミュニティビジネス起業入門セミナー」、「専門家の個別派遣」を実施し、全国の事例や具体的手法を学ぶ機会を提供されています。

5. これまでの取り組み状況と課題

平成 30 年度より事業開始し、これまでに多くの事業認定をされてきました。地域の未来づくり推進事業 9 件、地域活力創出事業 12 件。相談数はさらに多く、今後も事業認定をされていく予定です。

これまでの取り組みは、一部の地域にとどまっており、今後は、対象地域全体に拡大すること、そのためには、地域における成功事例をつくり、その地域で複数の事業を進めることが重要とのことでした。

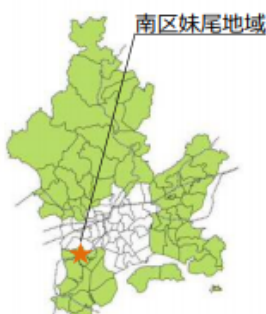
【事例】

1. シニアサポート倶楽部「ねこの手妹尾」

シニアサポート倶楽部「ねこの手妹尾」

地域密着型

期間：5年



地域の課題

- ✓ 約4人に1人が65歳以上という地域
- ✓ 単身や夫婦のみの高齢者世帯が存在
- ✓ 日常生活に不便さを感じながら生活している高齢者の増加

事業目的

高齢者の暮らしの困りごとを地域ぐるみでサポートする

事業規模

総事業費：3,107千円

補助予定総額：1,439千円

事業内容

サポート事業

ねこの手妹尾

団体のサポートにより、暮らしやすい日常となるように支援する

相談無料

必要な時だけ
依頼可能

定期的な
依頼も可能

地域の
高齢者等

相談・依頼

サービス提供

シニアサポートクラブ
「ねこの手妹尾」

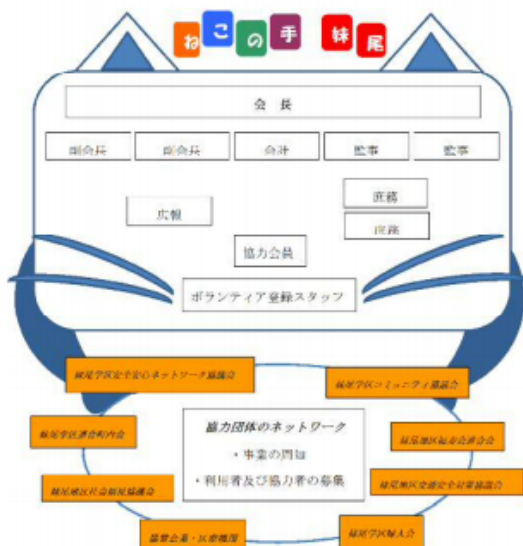
✓ サポート事業

地域のボランティアスタッフが対価を得ながら高齢者やその家族が出来ない事をサポートする。
(ゴミ出し、電球取り替え、お出かけ同行、話し相手、家の片付け、庭の片付け など)

✓ コミュニティ事業

- ・空き店舗を活用した事務所内に無料で気軽に立ち寄れる高齢者サロンを設置
- ・サロン内で音楽鑑賞やスライドによる読み聞かせ、歌やリズム遊びなどを行い、楽しめる時間を提供
- ・他会場を借りて健康教室や料理教室などを企画し、楽しみながら知識を深めてもらえるイベントを実施など

サポート体制



コミュニティ事業に活用する空き店舗



※事業内容については、申請者の資料をもとに市が作成しています。

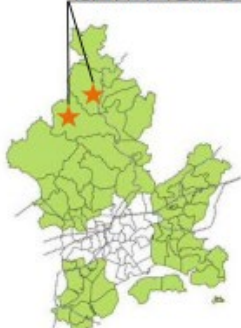
2. たけペーワーマンズ

ピーマンでまちおこし

地域密着型

期間：5年

北区御津・建部地域



地域の課題

- ✓ 少子・高齢化が進んでいる状況
- ✓ ピーマンの生産が盛んな地域だが、猛暑等の影響もあり、変形・日焼け等の規格外品の発生が増加
- ✓ 規格外のピーマンを大量に廃棄している

事業目的

- ✓ 規格外ピーマンを有効活用し、付加価値をつけて販売する
- ✓ 地域の高齢者、子育て中の主婦の仕事情による地域活性化

事業規模

総事業費：7,061千円
補助予定総額：3,136千円

事業内容

- ✓ 加工場所の整備（初年度に予定）
営業許可（そうざい製造業）取得に向けた改修
- ✓ 加工食品の製造
・昨年度試作を行ったピーマンの加工食品製造
・余剰野菜等を活用した、新たな加工食品の開発・製造
- ✓ 加工食品の販売
・小売店、観光施設での販売
・イベント販売 など
- ✓ 地域の仕事情
製造作業を地域の高齢者、子育て中の主婦等に依頼

規格外のピーマン



廃棄になることも多い



試作したピーマン加工食品

※平成30年度地域活力創出事業補助金採択事業



試作の様子



試作品

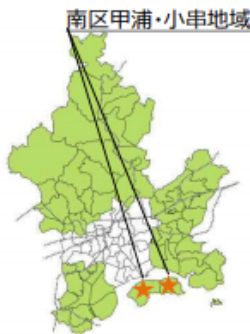
※事業内容については、申請者の資料をもとに市が作成しています。

3. (株)田口商店

有害野生鳥獣のジビエ利用計画

テーマ型

期間：3年



地域の課題

- ✓ 野生鳥獣の増加により、農作物等への被害が深刻化
- ✓ 野生鳥獣被害により農林水産業者の生産意欲の減退や担い手不足等が発生
- ✓ 計画エリアで捕獲されたイノシシが有効に活用されていない

事業目的

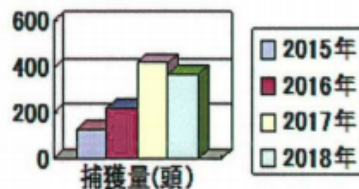
捕獲した野生鳥獣を地域ブランドの食肉原材料として活用し、地域活性化をめざす

事業規模

総事業費：58,229千円
補助予定総額：16,855千円

事業内容

計画対象エリアイノシシ捕獲数(猟友会南分会調べ)



地域の協力で捕獲されたイノシシ

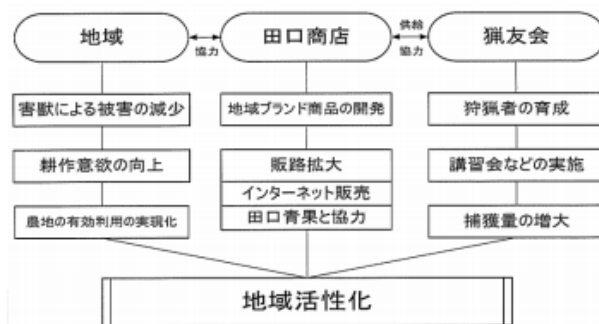
- ✓ 処理加工施設の整備 (初年度に予定)
食肉処理等に必要な営業許可や衛生基準に対応した施設の整備
- ✓ 地域で捕れた獲物をブランド化
・どこでいつ誰がどのように捕獲したかがわかる安心して利用できる商品づくりを目指す
・国産ジビエ認証の取得を目指す など
- ✓ 地元猟友会との連携
・捕獲した有害野生鳥獣を食肉原材料として活用
・新規狩猟者への解体処理講習への協力 など

活用予定の施設



※事業内容については、申請者の資料をもとに市が作成しています。

本計画で目指す目標



【所 感】

岡山市では、